

高島町屋代地区公民館・亀岡地区公民館「理科実験教室」 実施報告

大竹哲也

実施日：平成30年8月10日（金）

・10:00～12:00 高島町屋代地区公民館

参加者：児童135名（1年生26名，2年生27名，3年生27名，4年生33名，5年生18名，6年生4名），サポーター13名，公民館担当者2名

・14:00～16:00 高島町亀岡地区公民館

参加者：児童48名（1年生17名，2年生9名，3年生9名，4年生8名，5年生4名，6年生1名），サポーター3名，公民館担当者1名

テーマ：「液体窒素で超低温の実験」

指導者：佐藤和昭（統括技術長），大橋栄市（地域連携担当），村上聡（計測技術室），大竹哲也（計測技術室），鈴木貴彦（機器開発技術室），佐藤伸一（計測技術室）

今回の理科実験教室は、午前中に高島町屋代地区公民館、午後に高島町亀岡地区公民館と高島町の2つの公民館においての開催となった。屋代地区公民館は昨年到现在に続いて二度目、亀岡地区公民館は文化祭への出展はこれまでも行ってきたが、理科実験教室は初めてである。申込み時の希望日時が重なっていたため、公民館の担当者間で調整していただいた。実施テーマは多人数にも対応できる「液体窒素を使った実験」である。参加人数が多いことから、地域連携担当以外のスタッフを2名増員して対応することとした。スタッフ募集に応募していただいた方には感謝の意を表したい。屋代地区公民館では昨年度も同じテーマで開催しているが、参加者数が昨年度に比べ約50名増えている。普段目にすることがない液体窒素に対する興味の現れであろう。ただし、どちらの会場も参加者に占める1～3年生の児童の割合が6～7割と非常に多かった。準備してある保護メガネや革手袋のサイズが大きすぎて合わないこと、体験実験の整列指示にスムーズに従ってくれないことなど、安全面から考えさせられるものがあった。技術部の理科工作・実験教室は原則として4年生以上の学年を対象としている。低学年が大勢参加する今回のような申込みを今後も技術部で請け負っていいのか、判断が難しいところである。実験教室自体は大変好評であった。当日は蒸し暑い日であったため、雲の発生が非常にダイナミックで子どもたちが大喜びだった。



実験項目

○温度測定，○沸騰の様子，○乾電池・コイルの冷却，○気化による体積膨張，○風船の収縮・膨張，○二酸化炭素の凝固，○ボールの凍結・粉砕，○乾燥した紙と濡れた紙での違い，○アイスクリームの調理・試食，○雲の発生